

# アンケート結果報告

ご協力ありがとうございました。469通の返信(7/17現在)がありました。みなさんから寄せられた声・ご意見は、市政はじめ県政・国政に届けます。  
——— 日本共産党前橋市議団 ———

## 新型コロナ 第2波、第3波に備えた対策に全力を

アンケートからは、7割を超える方が感染への不安をかかえ、マスクや消毒液の不足、不十分な検査体制に怒り、病院受診への不安をいただく様子がうかがえます。

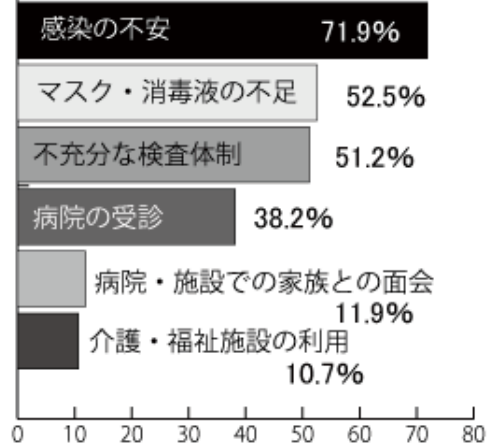
### 1 PCR検査を抜本的に増やせ

日本共産党は、感染者の早期発見による隔離・早期治療こそ、感染拡大や重傷化を防ぐことになると、国や県、市に繰り返し要求。第2波、第3波に備えた検査体制の強化を求めています。

### 2 医療体制の整備をただちに

感染者を受け入れる病院のベッドやエクモ（人工心肺装置）の確保、マスクやガウンなどの医療資材の確保をはじめ、受診抑制による減収補償など、医療供給体制の整備は急務です。

◎医療・介護で困っていることは？



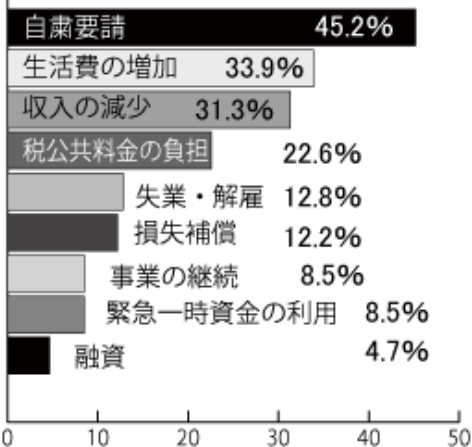
## 自粛と一体でくらしや営業の補償を

アンケートでは、自粛要請にとまどい、生活費の増加、収入の減少、税・公共料金の負担増に苦しむ姿が浮き彫りになりました。

### 声

・生活費が不足し、生活が困難。  
・コロナに限らず、スピード感なし。行政は無責任だ。

◎暮らしで困っていることは？



### 1 必要な支援を早く確実に

国の定額給付金10万円、事業者への持続化給付金、児童扶養手当受給世帯への支援金などが支給されていますが、コロナ感染による影響は長期化が予想されます。1回だけの給付金では足りません。くらしや営業が成り立つ継続的な支援を求めています。

### 2 中小零細事業者・フリーランスや非正規労働者への支援を

売り上げの激減で廃業に追い込まれたり、派遣切りによる失業者も増えています。家賃や設備資材のリース料などの固定費への支援や雇用調整助成金の支給拡大で営業と雇用を守ります。また、国保税などの減免でくらしを守ります。

## 子どもたちへの十分な学習支援とケアを

3ヶ月にわたる学校や幼稚園の休校や外出自粛は、子どもたちや家庭に負担と不安を及ぼしました。アンケートでは、学習の遅れや子どもたちのストレス、生活のリズムの乱れなどへの不安が多数寄せられました。

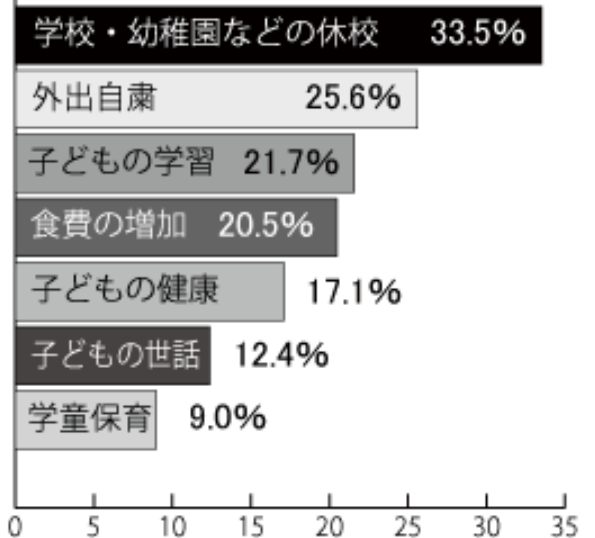
### 1 教員を増やして少人数でゆきとどいた教育を

「3密」を防ぐためにも、1クラスを20人程度にして、学習の遅れをとりもどす教育が求められます。パソコンやタブレットを活用した教育に多額の予算をかけるよりも正規の教員を増やして、一人ひとりの子どもにゆきとどいた教育を保障すべきです。

### 2 学校給食費の無料化や高校生までの医療費の無料化を

コロナ不況で、子育て世帯の所得の減少が避けられません。今こそ、国も自治体も子育て支援を優先する予算の使い方が求められています。共産党市議団は、新「道の駅」など大型開発事業を見直し、学校給食費や高校生までの医療費の無料化を優先すべきと議会で求めています。

◎子育て・教育で困っていることは？



### 声

・親の負担が増えて、虐待につながるようで、とても心配です。